

2024

11.20 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_V213i0O9TcaLmBhr3CoV2w

【技術支援】九州大学 Q-AOS

情報伝搬としてのリーダーシップ

～演繹的・論理的なアプローチによるリーダーシップのモデル化～



Key Words



定義演繹法

二重過程理論 (システム1 / 2)

理論 / 前提 / 定理

池田 大輔 准教授

九州大学 システム情報科学研究院

九州大学のコンピュータセンター、附属図書館を経て現在、九州大学の情報系学部の准教授です。学士、修士、および博士の学位を、それぞれ1994年、1996年、2004年に九州大学から授与されました。主な研究の興味はe-Scienceとリーダーシップです。前者は、ICTを用いた科学のことで、文系のテーマも含む様々なトピックを対象に研究を行っています。後者の研究は、約11年前から、全学の大学院生に向けた副専攻プログラム「決断科学」に参加したことにより始めたものです。情報処理学会および日本心理学会に所属しています。

リーダーシップの関連書籍は多くあり、一般の方にも興味あるトピックだと思います。心理学、経営学、社会学など人文社会系の多くの分野で研究されており、学術的にも重要視されています。従来は、アンケート調査データを解析し、得られた結果から新たなリーダーシップを定義してきましたが、様々なリーダーがいるため、様々な定義が乱立し、互いの関係は不明という状態です。本発表では、定義から論理的に得られる結果によって元の定義を評価することで、過去のリーダーの突拍子もない行動やマネジメントの違い等を導出できるようになります。本発表により、新しいけど腑に落ちるリーダー像が伝わればと思います。